

# 株主・投資家の皆さまとの対話

## 1. 対話促進のための体制

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るために、株主・投資家の皆さまとの建設的な対話を促進することが重要と考えています。

IR担当部門である経営企画部は、広報室、財務経理部をはじめとする関係部署と連携の上、円滑なIR活動及び経営陣による株主との対話を実施しています。また、株主との面談については、経営企画部と総務部を窓口として、株主の面談の目的等を踏まえて、取締役（社外取締役含む）、執行役員、監査役が合理的な範囲で適切に対応することを基本としています。

## 2. 株主・投資家の皆さまとの建設的な対話に関する取り組み

国内外の株主・投資家の皆さまとの対話の充実を図るため、継続的な個別面談の実施に加え、代表取締役及びCFOとの直接対話の機会を増加させる取り組みなど、積極的な意見交換を行っています。2024年3月末時点で当社発行済株式の約30%を保有する外国人株主に向けては、海外在住の投資家へのIR活動として、国内外の投資家が参加するカンファレンスでの面談など、積極的かつ継続的なリレーション構築に努めています。

### 株主・投資家からの意見とそれを踏まえた対応

テーマ	株主・投資家の皆さまからのご意見	当社の対応（2024年5月公表の新中期経営計画含む）
情報開示の拡充	成長戦略の柱のひとつがグローバル事業であることは理解しているが、グローバル事業に対する理解を深めるための情報開示を増やしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル事業の中核であるインド事業に特化した戦略説明会を開催 グローバル事業部管掌/取締役（兼）専務執行役員 森に加え、Kisetsu Saison Finance (India) Pvt. Ltd. CEO Presha Paragashをプレゼンターとした事業戦略説明会を実施 グローバル戦略説明会 <a href="https://corporate.saisoncard.co.jp/business/global/pdf/global_20240607.pdf">https://corporate.saisoncard.co.jp/business/global/pdf/global_20240607.pdf</a></li> <li>新中期経営計画、グローバル戦略説明会で従来の債権残高・利益計画に加え、事業モデルの詳細、主要商品の利回り、リスク情報等の情報開示を開始</li> </ul> <p style="text-align: right;">2024年6月 グローバル戦略説明会</p>
資本政策	資本政策に対する基本的な考え方のような定性情報だけでなく、定量情報を交えた開示にしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年5月公表の新中期経営計画において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた考え方を公表</li> <li>キャッシュ・アロケーション情報を初開示 リリース <a href="https://corporate.saisoncard.co.jp/wr_html/news_data/avmqks000000cgxa-att/20240515_Release1.pdf">https://corporate.saisoncard.co.jp/wr_html/news_data/avmqks000000cgxa-att/20240515_Release1.pdf</a> 中期経営計画資料 <a href="https://corporate.saisoncard.co.jp/wr_html/ir/data/jp/avmqks000000cgrx-att/avmqks000000cgtp.pdf">https://corporate.saisoncard.co.jp/wr_html/ir/data/jp/avmqks000000cgrx-att/avmqks000000cgtp.pdf</a></li> </ul>
対話の充実	これまでの決算説明会は、本決算（5月）と上期決算（11月）の年2回。第1四半期決算（8月）と第3四半期決算（2月）はセルサイドアナリスト限定開催。より理解度を深めるために四半期開催にしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年8月の第1四半期決算説明会から、従来のセルサイドアナリストの皆さまに加え、機関投資家の皆さまにも参加いただく形式に変更</li> </ul>
サステナビリティに関する情報拡充	サステナビリティに関する情報を拡充してほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年8月のサステナビリティ推進委員会設立以降、TCFDへの賛同、Scope1,2,3の測定、CDP回答によるBスコア取得など情報開示を拡充</li> <li>2023年10月「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード（GRIスタンダード）」を参照した当社の情報開示状況を一覧にして掲載</li> <li>2024年8月 温室効果ガス排出削減目標がSBTi認定を取得</li> </ul>

## 3. 株主・投資家の皆さまとの対話内容のフィードバック

対話で得られた株主・投資家の皆さまからのご意見・ご要望や随時発行されるアナリストレポート等につきましては、IR担当部門である経営企画部が中心となり、当社の経営幹部等に対し適宜・適切にフィードバックするとともに、取締役会や経営会議等において対話に関する報告を行うことで、企業価値向上に向けた議論に活用しています。

### セルサイドアナリスト／機関投資家との個別面談

